

## 令和3年度第3回（第27回）

### ICT活用教育の推進に関する事業改善検討委員会資料

資料1 教育フェスタ

資料2 県立学校の1人1台端末を活用した取組

資料3 GIGAスクール構想支援事業（市町立学校の支援）

資料4 小・中・高を通じた英語教育強化事業

資料5 大学1年生を対象とした情報活用に関する意識調査

令和4年2月1日（火）

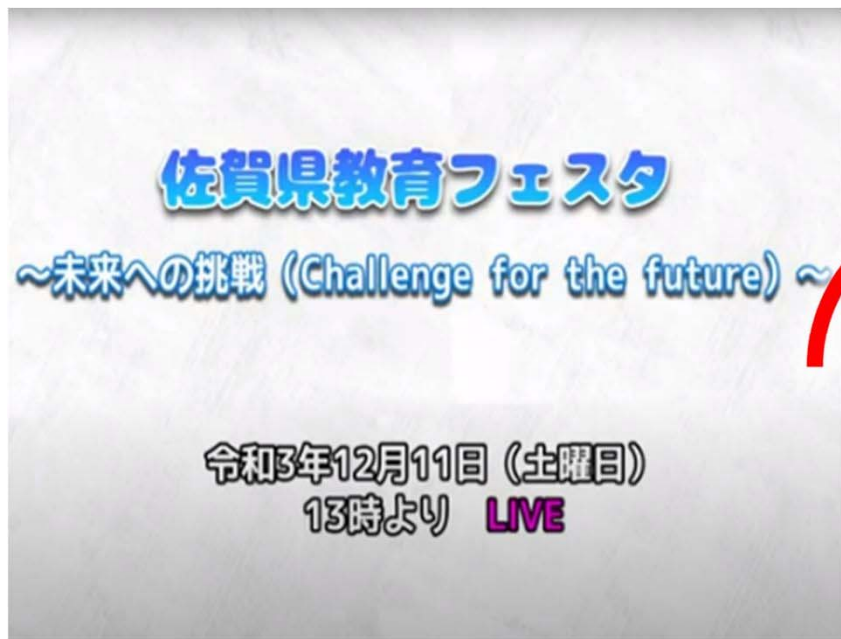
佐賀県教育委員会

## 令和3年度の取組（12月～）

---

### 佐賀県教育フェスタについて

# 令和3年度佐賀県教育フェスタ ～未来への挑戦 (Challenge for the future)～



## <開催趣旨>

新しい時代(Society5.0)の到来  
や新型コロナウイルスの感染拡大など、予測困難な社会の中で、たくましく生きる子どもを育てる。

## <令和3年度の重点>

- ・体力向上へ向けた学校の取組の充実
- ・特別支援学校における特別支援教育の充実
- ・さがを誇りに思う教育の推進
- ・「プロジェクトE」推進

佐賀県

## 令和3年度 佐賀県教育フェスタ

～未来への挑戦 (Challenge for the future)～

令和3年 **12月11日** (土) 13:00～ [受付12:30～]

会場 / 神埼市中央公民館 講堂(神埼市神埼町鶴3388-5)

主催 / 佐賀県教育委員会 共催 / 佐賀県内20市町教育委員会

**YouTube** ライブ配信 (オンデマンドでもご覧いただけます。)

13:00～16:40 「KouhouSagaBOE」 URL: <https://youtu.be/R86Hdws25io>

参加費  
**無料**

<p><b>13:00～</b></p> <p><b>オープニング</b></p> <p>佐賀県高等学校文化連盟 佐賀県高等学校 時給奨励部 教員会等学校</p> <p>時給奨励部は、県内高校と教員会等学校で活動を進めています。望風武士の精神を時給奨励部で披露します。</p>	<p><b>発表13:45～ 表彰16:15～</b></p> <p><b>高校生ICT活用 プレゼンテーション大会</b></p> <p>高校生たちがプレゼン能力を発揮、審査により最優秀作品を決定します。</p>
<p><b>13:15～</b></p> <p><b>目指せ! 日常的な端末活用 ～主体的・対話的で深い学び×ICT～</b></p> <p>児童生徒の情報活用能力の育成と教員のIT活用能力の向上について、学びあいを図ります。</p>	<p><b>14:25～</b></p> <p><b>体力向上に向けた学校の取組発表 ～小学校「スポーツチャレンジ」～</b></p> <p>クラブや部活などでスポーツを楽しみながらチャレンジしている姿を紹介します。</p>
<p><b>13:20～</b></p> <p><b>教職員によるICT活用教育指導事例 結果発表・表彰及び1人1台端末を 活用した授業改善についての取組発表</b></p> <p>1人1台端末を活用した授業改善について、特別支援学校や私立学校の取組を紹介します。</p>	<p><b>14:45～</b></p> <p><b>特別支援学校の就労支援の紹介</b></p> <p>中津特別支援学校 職業コースの生徒が、就労に向けた取組について紹介します。</p>
<p><b>15:10～</b></p> <p><b>児童生徒ふるさと学習コンクール 優秀作品表彰及び発表</b></p> <p>身近な地域や伝統のモノやコト、ヒトなどについて調べ、学んだ成果、ふるさとへの思いを発表します。</p>	

**申込方法** 会場は事前申込みが必要です。  
11月30日(火)までにプロジェクトE推進室へ電話もしくはメールにてお申し込みください。  
会場は、新型コロナウイルス対策のため来場者数を制限させていただきます。当日参加はできませんのでご了承ください。

**【教育フェスタ、ICT活用教育「プロジェクトE」に関すること】**  
 担当: 学校教育課プロジェクトE推進室 電話 0952-25-7363(直通)  
 E-mail: gskkoukyouku@pref.saga.lg.jp

**【さがを誇りに思う教育に関すること】**  
 担当: 学校教育課特別活動担当 電話 0952-25-7049(直通)  
 E-mail: gskkoukyouku@pref.saga.lg.jp

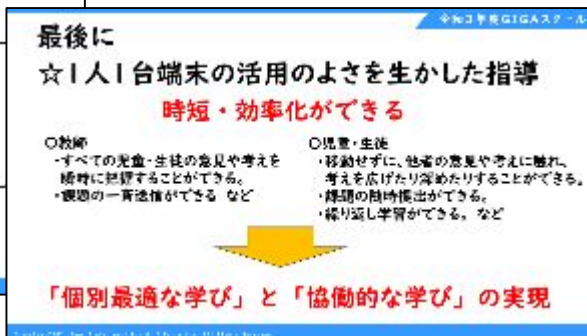
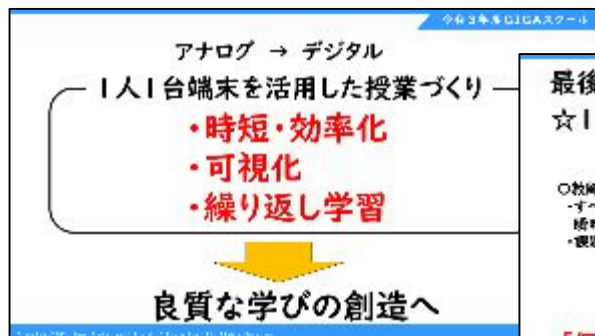
**【体力向上へ向けた学校の取組の充実に関すること】**  
 担当: 保健体育課学校体育担当 電話 0952-25-7235(直通)  
 E-mail: heiken-taiou@pref.saga.lg.jp

**【特別支援学校における特別支援教育の充実に関すること】**  
 担当: 教育企画課特別支援教育課 電話 0952-25-7470(直通)  
 E-mail: kyouiku-shikou@pref.saga.lg.jp

# 令和3年度佐賀県教育フェスタ ～未来への挑戦 (Challenge for the future)～

## 目指せ! 日常的な端末活用

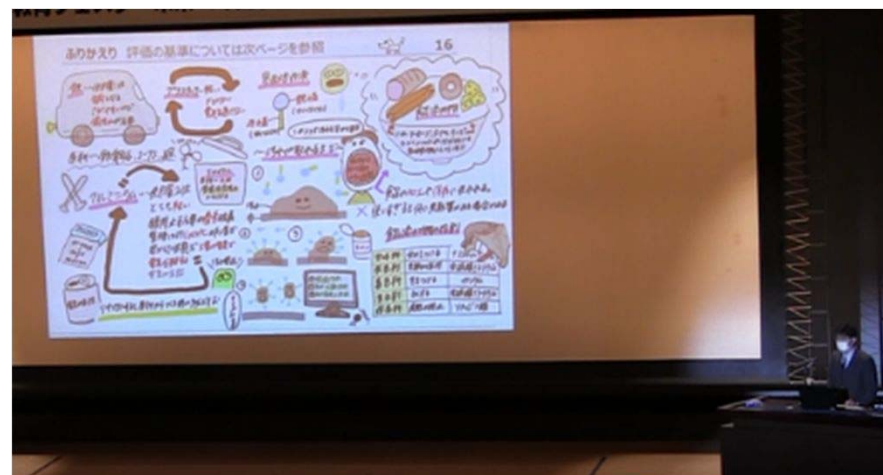
<全県の取組提案>  
全県の取組提案… 佐賀県教育委員会



## 1人1台端末を活用した授業改善についての取組発表



<市町の取組発表>



<県立学校の取組発表>



# 令和3年度佐賀県教育フェスタ ～未来への挑戦 (Challenge for the future)～

## 1人1台端末を活用した授業改善についての取組発表

### 3. 実践事例3 小学6年生「『話し合い指南書』をつくろう」

#### ICT活用の具体

①デジタル教科書の動画を電子黒板で見せながら、クラウドのファイルを使って同時編集の中で気付きを書かせた。同時編集のため記述と共有を同時に両立させることができた。



②端末を使って話し合いの様子を撮影し、自分たちの話し合いを見ることができるようにした。撮影することにも、見返すことにも話し合いの力を伸ばすメリットがあった。



### 小学校国語科におけるICT活動学習指導

- ・「資料を活用して伝えよう」 5年生
- ・「わたしたちの読書レビュー」 6年生
- ・「『話し合い指南書』をつくろう」 6年生

### OneNote教材の構成

表紙

目的  
目標

説明

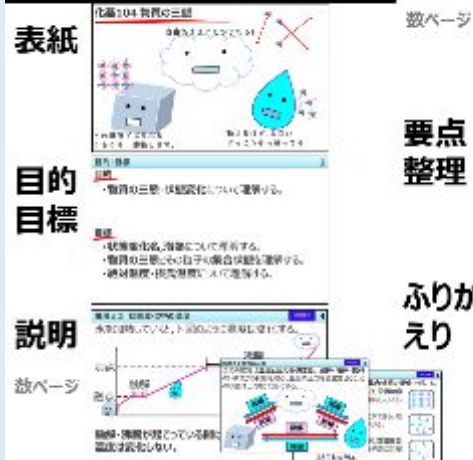
表紙

問題

表紙

要点  
整理

ふりか  
えり



### OneNoteによる自作教材・Teamsの課題機能を用いた提出・評価

- ・生徒の提出を検知し、新しく提出されたものだけを効率よくチェックできる仕組みを作成
- ・ルーズクリックの機能を活用した評価
- ・短いスパンでフィードバック

# 令和3年度佐賀県教育フェスタ ～未来への挑戦(Challenge for the future)～

## 高校生ICT活用プレゼンテーション大会

<令和3年度 最優秀賞>「シニア世代にEスポーツを」



# 令和3年度佐賀県教育フェスタ ~未来への挑戦(Challenge for the future)~

## 高校生ICT活用プレゼンテーション大会

佐賀の大豆でカフェ



自分にできるボランティアで世界を変えよう



佐賀のねぎを売り込め!うまかねぎレンジャー



小城にアイスミュージアムを



# 令和3年度 県立学校の1人1台端末を活用した学校の取組について





R3年度 1人1台端末を活用した教育における取組目標  
～ 県立高校における取組目標 概要 ～

▶視点1 – 授業改善の取組–

	学校目標	設定理由	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
深まり	<b>思考力の向上（深まり）</b> ・他の生徒の意見との比較や傾向の分析等を行い、思考を深める など	・課題解決能力の育成 ・分析能力の育成		○	○
	<b>学力養成・基礎学力の定着（深まり）</b> ・基礎の定着から大学入試を見据えた応用力養成に取り組む ・生徒が試行錯誤して理解を深める学びを実現する など	・身に付けた知識や技能の活用 ・思考力・判断力・表現力等の育成	○	○	○
広がり	<b>プレゼンテーション能力の向上（広がり）</b> ・論理的に説明しながら発表する力を有する生徒の育成 など	・学習の基盤となる情報活用能力の育成 ・生徒の発信力の育成	○	○	
つながり	<b>学力養成（つながり）</b> ・意見を共有における、より深い理解の促進・思考力育成 ・生徒の関心・意欲・理解度を把握・分析した、授業改善 など	・主体的に学習に向かう力の育成 ・個別最適化の学びの実現 ・授業改善の取組	○	○	○

▶視点2 – 授業外の取組–

	学校目標	設定理由	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
学力向上	<b>家庭学習（自学自習）</b> ・実用英語技能検定準2級相当の英語力を持つ生徒の育成 ・学習動画を視聴したり、Webテスト機能を使って学習に取り組み基礎・基本の定着を目指す など	・個別最適化の学びの実現 ・主体的に学ぶ力の育成	○		○
	<b>アンケート機能を活用した分析</b> 家庭学習時間の入力などの各種調査等の、アンケート機能を利用した実施	・数値比較や分析能力の育成	○	○	
進路指導	<b>ポートフォリオ作成</b> ・記録を確実にしポートフォリオの作成 ・自己を見つめ将来について積極的に考える態度の育成 など	・生徒の主体的な学びの定着 ・高大接続改革への対応		○	○
	<b>進路指導（面接指導）</b> ・面接応答等についての振り返り ・主体的に学びに向かう力の育成 など	・進学、就職等、自己実現に向けて ・就業時のビジネススキルの習得		○	○
情報活用能力	<b>プレゼンテーション能力の育成</b> ・論理的に説明できる資料作成能力の育成 など	・学習の基盤となる情報活用能力の育成 ・生徒の発信力の育成	○	○	○

個別最適化の学びを実現する取組：アンケート機能等を活用する学校の割合 13校  
学習支援アプリケーション等を活用する割合 7校

● 令和3年度の傾向

- アンケート機能や学習支援アプリケーション等を活用した、個別最適化の学びを実現する授業改善に取り組む学校が多い。
- 授業外の取組についても、基礎力定着を目的とした個別最適化の学びを実現する取組をする学校が多い。
- 進路指導の充実のために1人1台端末を活用する学校が多い。



R3年度 1人1台端末を活用した教育における取組目標  
～ 県立中学校における取組目標 概要 ～

▶視点1 – 授業改善の取組–

	学校目標	設定理由	学習者への影響		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
深まり	<b>思考力の向上（深まり）</b> ・教科横断的な学びを実現する。 ・他の生徒の意見との比較や傾向の分析等を行い、思考を深める。	・課題解決能力の育成 ・分析能力の育成		○	○
	<b>プレゼンテーション能力の育成（広がり）</b> ・目的に応じて適切に情報手段を活用し、主体的に情報を収集し、発信できる能力を育成する	・考えを適切に説明する力の育成 ・情報を整理・発信する力の育成		○	○

▶視点2 – 授業外の取組–

	学校目標	設定理由	学習者への影響		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
学力向上	<b>家庭学習(自学)での活用</b> ・中学卒業までに英語検定準2級以上を取得した生徒の割合	・英語によるコミュニケーション力の育成 ・リスニング力、スピーキング力の向上	○		
	<b>ポートフォリオ作成</b> ・記録を確実にいりポートフォリオの作成 ・自己を見つめ将来について積極的に考える態度の育成 など	・論理的かつ視覚的な表現力の育成 ・分析能力の育成		○	○
分析	<b>アンケート機能を活用した分析</b> 家庭学習時間の入力などの各種調査等の、アンケート機能を利用した実施 など	・数値比較やデータ分析の育成	○	○	

個別最適化の学びを実現する取組：授業改善の取組 2校  
授業外の取組 3校

- すべての県立中学校で、個別最適化の学びの取組を行っている。
- 思考力・判断力・表現力等の育成を取組目標に定めている学校が多い。
- プレゼンテーション能力の育成等、主体的に情報を分析したり、活用する能力を育成を目指す学校が多い。



R3年度 ICTを活用した教育における取組目標  
～ 特別支援学校における取組目標 概要 ～

▶ 視点1 - 学習用情報端末を活用した取組 -



	学校目標	設定理由	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	人間的・学びに向かう力・人間性
深まり 広がり	知識・技能/学びに向かう力 困難さを軽減し、基礎力の定着・学力向上	・学びへの意欲的、主体的な参加	○		○
情報 リテラシー	体験学習・調べ学習・発表活動での活用 アクセシビリティ機能を活用して、自らの視機能に合わせたパソコンの操作ができる生徒の割合 など	・就労に向けての支援	○	○	○
情報 活用 能力	体験学習・調べ学習・発表活動での活用 目的に応じて適切に情報手段を活用し、主体的に情報を収集し、発信できる能力を育成する	・情報を収集し選択する力の育成		○	○
教員の スキル	授業改善・指導法の工夫 児童生徒の特性や困難さに応じた授業づくりや支援を行うことができた割合 など	・ICTを活用した指導力の向上 ・写真等を用いた見通しを持った学習活動の保証	○		○

▶ 視点2 - 電子黒板を活用した取組 -



	学校目標	設定理由	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	人間的・学びに向かう力・人間性
深まり 広がり	知識・技能/学びに向かう力 デジタル教材や動画を効果的に活用した自学自習	・主体的に発表する態度の育成 ・お互いの発表を理解したり、活用したりする力の育成	○		○
広がり つながり	文章作成能力の育成 ことばの力を高め、自分の考えをわかりやすく伝えることができる児童生徒の育成 など	・学びへの意欲的、主体的な参加 ・疑似体験による学習への満足感		○	○
教員の スキル	学習、生活上の困難の克服への支援 動画や画像を補助資料として提示しながら効果的な提示をしたり、児童生徒の興味関心を引き出す教材作成ができる教員の割合	・個別の支援計画を基にした支援 ・個々の障害に応じた視認性の向上	○		○
	学習、生活上の困難の克服への支援 活動の内容や日程など、学習に係る具体的な見通しが持てるようになる など	・学習への達成感の成就と自己肯定感の高揚 ・写真などを用いた見通しを持った学習活動の保証	○		○



1人1台端末の活用

1人1台端末の活用については、児童生徒の活用を想定した目標を設定している学校が多く、【情報活用能力の育成】、【調べ学習・発表活動での活用】を目標に挙げている学校が多い。  
児童生徒の個々に応じた基礎学力の育成や学力向上に取り組む学校も増えてきている。



電子黒板の活用

電子黒板の活用については、教師の活用を想定した目標を設定している学校が多く、【授業改善・指導法の確立】、【学習、生活上の困難の克服への支援】を挙げている学校が多い。具体的には、画像・映像等を提示して、学習の見通しを持たせる、興味や関心を高めることなどをねらいつつしている。  
一方で、「自学自習」の取組を目標に挙げる学校がある。



## 令和3年度の取組事例 ①

## ▶ 目標1 – 個別学習及び協働学習の取組 – (県立佐賀西高等学校)

## 授業改善の取組

取組  
目標の  
設定

- **取組目標** 1人1台端末と電子黒板を使用し、教員が作成したデジタル教材、もしくは既存のデジタル教材等を活用して、基礎の定着から大学入試を見据えた応用力養成に取り組む。
- **設定理由** デジタル教材等によって効果的に基礎を定着させ、そのうえで各教科等における思考力・判断力・表現力等を育むため。
- **具体的方策** ICT活用が効果的な単元を見極め、既存のデジタルコンテンツや教員作成のデジタル教材等を活用して、基礎力から応用力の定着・養成に取り組む。

具体的  
取組

- アンケート機能で、授業前の生徒の知識を確認、クラス全体に共有する
- Teams等を活用して、デジタルワークシートを協働編集すると共に、課題提出にも活用する

## 【学校の取組】

## ▶ 各担当教諭が授業改善の取組を実施→全体に共有

## (家庭科の取組)

- ① アンケート機能で、これまでの授業で得た知識を確認する
- ② 班ごとに協議しながら、協働してデジタルワークシートを編集する
- ③ Teamsを活用して、課題を提出

中間  
報告

- 各教科において、1人1台端末やデジタル教材使用の効果が期待できる単元・活動等については、比較的積極的な活用がなされている。
- 一つのデジタルワークシートを班員全員で協働編集することができるので、作業を効率よく進めることが可能です。

話し合いながら、効率よく作業を進めることで、考えが深まり、1人1人の知識が班員全員の知識へと広がる

## 令和3年度の取組事例 ②

## ▶目標1 –個別学習及び反転学習の取組– (県立佐賀北高等学校)

## 授業改善の取組

取組  
目標の  
設定

- **取組目標** ICTを使い、思考を深める。
- **設定理由** 学習の基盤となる情報活用能力を身に付けさせ、各教科などの学習において活用させる。
- **具体的方策** 授業等において、ICTを活用した授業改善をおこなう。

具体的  
取組

- 実習の説明や教材の解説等は、反転学習で行う
- 反転学習の内容を基に、思考力・判断力を養う授業を行う

## 【学校の取組】

▶ 各担当教諭が授業改善の取組を実施→全体に共有

## (理科(化学)の取組)

- ①反転学習のポイントの確認
- ②電気分解の両極での反応を考察し、アンケート機能で考察を答えさせたうえで、クラス全体でそれぞれの仮説を共有
- ③Teamsを活用して、課題を提出

中間  
報告

- 反転学習と、配布した資料を確認することで実験を進めることが可能なため、少人数での実験が可能。
- 気になる考察を書いた生徒に対して、個別にフィードバックを行うことができるので、生徒の考察が深まる。

▶ 反転学習で得た知識を基に、効率よく作業を進めることで、より深い学びに繋がる

# GIGAスクール構想支援事業 (市町立学校の支援)について



## 現状とこれまでの成果と課題（令和4年1月21日現在）

### ○現状の導入状況

- ・全学年導入済み・・・・・・・・・・19自治体
- ・令和4年度までに全学年導入・・・1自治体

### ○成果

- ・各教科で実践している教員が増えている
- ・児童生徒が端末の活用に慣れてきている。
- ・ICTを活用することで、アンケートのペーパーレス化など時短、効率化できる部分が増えた。
- ・授業外での活用で、係活動、部活動での活用する場面が増えた。 など

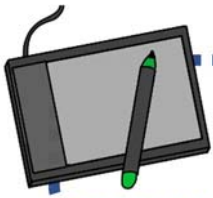
### ○課題

- ・今後の端末の活用について、方針がほしい。
- ・有効事例について、共有する場がもっとほしい。
- ・授業実践を見る場が少ない。
- ・実践事例の共有を校内だけでなく、県内市町で共有できるようにしたい。
- ・書く活動が減ってきている。
- ・持ち帰りのルールを含めた使用ルールをしっかりと共通理解する必要がある。 など

**(1) 端末活用ステップアップ**

**(2) 令和3年度の取組**

**(3) 令和4年度の取組**



# すぐにでも!どの教科でも!誰でも!活かせる 端末活用ステップアップ

令和4年2月 佐賀県教育委員会

このステップアップは、1人1台端末を活用した「授業づくり」に向け、学びの充実にむけた活用を進めることができるように作成しました。

1人1台端末は、道具であり、児童生徒の日常的な活用が進んでいます。1人1台端末は、教育効果を考えて活用することが重要であり、ICT活用自体が目的化しないよう留意する必要があります。また、授業づくりにおいては、ICTを活用することで、「時短・効率化」「可視化」「繰り返し学習」など利点が生まれます。授業における目標やねらいを達成させるために、1人1台端末を効果的に活用しましょう。

## 1人1台端末活用



全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指しましょう。

授業づくりステップ1・2・3の「書く活動」「話し合う活動」「振り返り」の項目について、《活用例》を作成しました。

授業の目標を達成させるため、授業づくりステップ1・2・3のステップを意識し、《活用例》の中から、1人1台端末の活用の仕方を選んで実践しましょう。

授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現～

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

## 授業づくりのステップ:「書く活動」の設定について



《活用例》

- スライド機能を活用し、図、式、言葉を使って自分の考えを端末に書き込む。
- 画像の一齐送信後、画像に色を付けて分けたり、自分の考えを端末に書き込んだりする。
- ホワイトボード機能を活用し、付箋に自分の考えを複数書き込む。

□ステップ1

必要に応じて、子どもが一人で考えて「書く活動」を取り入れていますか？

□ステップ2

必要な条件や具体的な書き方などを示した上で、「書く活動」に取り組むことができるようにしていますか？

□ステップ3

自分が書いたものが「めあて」に沿った内容になっているかなどを、子どもが見直せるような手立てをとっていますか？

### 1人1台端末の活用のポイント

- ・書き込み、色塗り等の修正、変更、保存
- ・他者の考えを確認しながらの書き込み
- ・画像の一齐送信、1人1台端末からの随時提出
- ・保存後の振り返りへの活用
- ・描画ツールを使っての書き込み



## 授業づくりのステップ:「話し合う活動」の設定について



### 《活用例》

- スライドに記入した自分の考えについて端末を使って示しながら、記号や印を使って、互いに説明する。
- 端末に記述した異なる考え方を確認しながら、共通点や相違点を考え、説明する。
- 記述した多様な意見や考えについて、分類方法を考え整理したり、分類した理由や根拠を説明したりする。

### 少人数で「話し合う活動」

ステップ1 必要に応じて、少人数で「話し合う活動」を取り入れていますか？

ステップ2 話し合いの目的や進め方、時間などを示していますか？

ステップ3 話し合う内容を魅力的なものにし、話し合う必然性をもたせるなど、子どもが意欲的に「話し合う活動」を進めることができるようにしていますか？

### 学級全体で「話し合う活動」

ステップ1 子どもが考えを発表し、その内容を学級全体で共有していますか？

ステップ2 子どもと子どもの考えをつなぎ、子ども同士の交流を通して「話し合う活動」を進めていますか？

ステップ3 子どもが出した考えを、共通性や関連性などの観点で整理し、みんなに示していますか？

### 1人1台端末の活用のポイント

- ・複数の画面の大画面提示
- ・全体の考え、意見の把握
- ・多様な考えの共有、分類、整理

## 授業づくりのステップ:授業の「振り返り」について



### 《活用例》

- アンケート機能を活用し、授業の振り返りを行う。
- 表計算の共有機能を活用し、振り返りを行う。  
【選択式】 学習への意欲、学習の理解度 など  
【記述式】 授業でできるようになったこと、できなかったこと、新たな課題  
授業で分かったこと、新たに気づいたこと など

ステップ1 授業の最後に、子どもが「振り返り」を行うようにしていますか？

ステップ2 「振り返り」を行う前に、学習内容の理解や学習活動への取り組み方など、何について振り返ればよいかを、子どもに示していますか？

ステップ3 「めあて」に沿った振り返りの視点や判断する基準などを明確に示したうえで、子どもが「振り返り」を行うことができるようにしていますか？

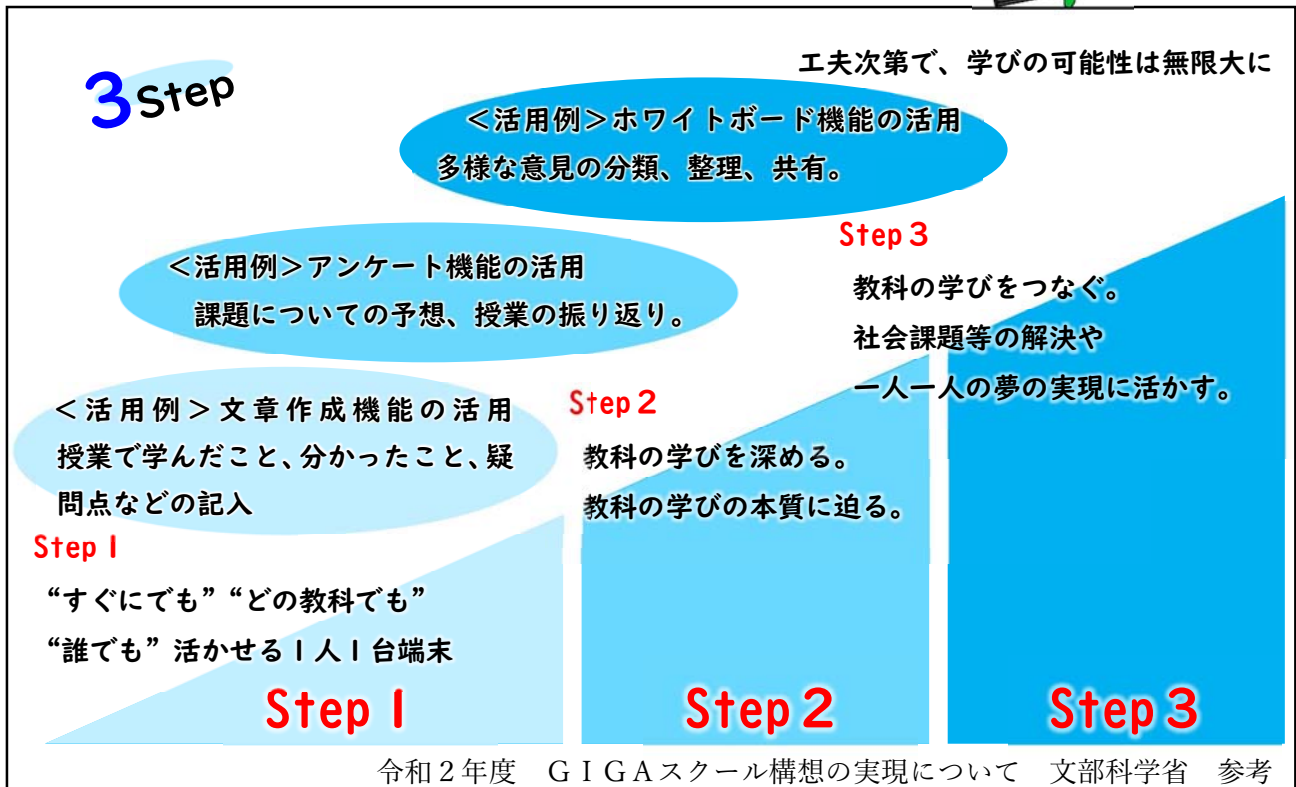
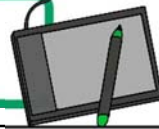
### 1人1台端末の活用のポイント

- ・短時間での実施、集約、グラフ化
- ・多様な考えの共有
- ・気持ち、考えの変容の確認

## 教職員のICT活用指導力の向上 ～1人1台端末を活用した授業改善～ これまでの教育実践とICTのベストミックス

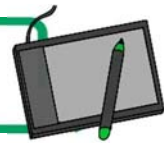
このステップは、教職員のICT活用指導力向上を図るためのステップ図です。  
教職員のICT活用指導力を向上するためには、授業中で、「文書作成ソフトを活用した取組」「インターネットを活用した調べ学習」「プレゼンテーションソフトを活用した取組」「ホワイトボード機能を活用した協働学習」などを授業で積極的に取り入れることが大切です。  
1人1台端末の日常的な活用を進めていきましょう。

### 1人1台端末で変わる学び



### 4 Step

### 児童生徒のICT活用を指導する能力



できる・・・4、ややできる・・・3、あまりできない・・・2、できない・・・1

(1)	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力やファイル操作など)を児童生徒が身に付けることができるように指導する。	4・3・2・1
(2)	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。	4・3・2・1
(3)	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。	4・3・2・1
(4)	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。	4・3・2・1

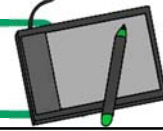
## 良質な学びの想像 ～学習活動の一層の充実～

### 発達段階に応じた「情報活用能力」の育成

良質な学びを創造するための、発達段階に応じた情報活用能力の育成についてのステップ図です。目指す児童生徒像を、5つのステップで示しています。また、授業中、授業外での活用例、育みたい情報活用能力の具体例も示しています。

1人1台端末を活用における「時短・効率化、可視化、繰り返し学習」などの利点を生かし、授業、授業外で活用する場を設定し、児童生徒の情報活用能力の育成を図っていきましょう。

### 目指す児童生徒像



#### 5 Step

1人1台端末等の基本的な操作がわかり、大切に扱おうとする。

**Step 1**  
小（低）

1人1台端末等に慣れ親しみ、情報収集や記録など、学習や生活に役立てようとする。

**Step 2**  
小（中）

1人1台端末等を積極的に利用し、情報を整理しながら課題解決に活かそうとする。

**Step 3**  
小（高）

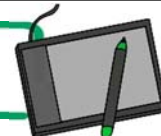
1人1台端末等を目的に応じて活用し、情報を取捨・選択しながら意図に沿うようまとめることができる。

**Step 4**  
中

1人1台端末等の活用を様々な場面に広げようとし、効果的で説得力のある表現ができる。

**Step 5**  
高

### 情報活用能力を育む1人1台活用場面



授業での活用（例）		授業外での活用（例）
<p><b>調べる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検索機能の活用</li> <li>図鑑、辞書等必要な情報の閲覧</li> <li>目的に応じた調べ学習</li> <li>調査の記録</li> </ul>	<p><b>記録 整理 分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動画の活用</li> <li>写真の活用</li> <li>スライド機能の活用</li> <li>録音機能の活用</li> <li>音声認識ソフトの活用</li> <li>プレゼンテーションソフトの活用</li> <li>データ処理</li> <li>表やグラフでの分析</li> </ul>	<p><b>朝礼前、休み時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイピングソフトの活用</li> <li>学級日誌での活用</li> <li>班日誌での活用</li> <li>係活動での活用</li> </ul>
<p><b>協働制作・まとめる・発表する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフトの活用</li> <li>ホワイトボード機能の活用</li> <li>スライド機能の活用</li> <li>動画機能の活用</li> <li>写真機能の活用</li> </ul>	<p><b>学習の定着状況の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の確認</li> <li>確認テスト</li> <li>小テスト</li> <li>自作教材の活用</li> </ul>	<p><b>課外活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事</li> <li>児童会活動、生徒会活動</li> <li>クラブ活動</li> <li>部活動</li> </ul>
<p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート機能の活用</li> <li>文書作成機能の活用</li> <li>考えの共有</li> </ul>		<p><b>個別最適な学び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドリル教材の活用</li> <li>復習動画・教材の活用</li> <li>自作教材の活用</li> </ul>

1つの例として示すものです。発達段階に関わらず、個や集団の実態に応じてご活用ください。

# 育みたい資質・能力



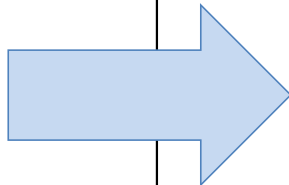
分類		Step1 小（低）	Step2 小（中）	Step3 小（高）	Step4 中	Step5 高
A. 知識・技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	・コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作	・電子ファイルの検索	・電子ファイルのフォルダ管理	・電子ファイルの圧縮、暗号化、バックアップ等	・電子ファイルのクラウド上での活用や権限設定等
	問題解決・探求における情報活用の方法の理解	・身近なところから様々な情報を収集する方法	・調査や資料等による基本的な情報の収集の方法	・調査や実験・観察等による情報の収集と検証の方法	・情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法	・情報通信ネットワークから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方
	情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	・人の作った物を大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があること	・自分の情報や他人の情報の大切さ	・情報に関する自分や他者の権利	・情報に関する個人の権利とその重要性	・情報に関する個人の権利とその重要性
B. 思考力・判断力・表現力等	問題解決・探求における情報を活用する力	・身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	・調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、観点を決めた簡易な表やグラフ等や習得した「考えるための技法」を用いて情報を整理する	・目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報を収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する	・調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を組み合わせて活用したりして整理する	・分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する
	問題解決・探求における情報活用の態度	・事象と関係する情報を見つけようとする	・情報同士のつながりを見つけようとする	・情報を構造的に理解しようとする	・事象を情報とその結びつきの視点から捉えようとする	・事象を情報とその結びつきの視点から捉えようとする
C. 学びに向かう人間性等	情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	・人の作った物を大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする	・自分の情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする

1つの例として示すものです。発達段階に関わらず、個や集団の実態に応じてご活用ください。



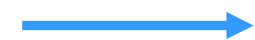

## (1) 端末活用ステップアップの活用について


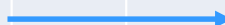
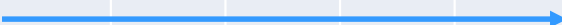
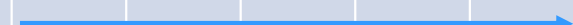

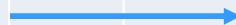
期間	2月	3月	4月	5月
端末活用ステップアップの活用	エリアリーダー、スーパーティーチャー、研究指定校、校長会等に活用依頼	修正及び検討	修正及び検討	教育事務所、市町教育委員会を通じ、全市町立学校での活用



## (2) 令和3年度の取組

# ・年間スケジュールについて(令和3年度)

 オンデマンド研修  
 期間内で実施



○各種研修会について		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①県立教科リーダー、市町エリアリーダー研修				○ 合同							○ 合同		
②教育情報化推進リーダー研修(オンライン研修)	県立			○			○						
	市町				○								
③職員の経験年数別研修	初任者(オンデマンド研修)												
	3年経験者(オンデマンド研修)												
④1人1台端末の活用力向上研修									○ 2回	○ 2回			
⑤校内研修に係る支援													
⑥管理職研修会(オンデマンド研修)													




○公開授業及び授業研究会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究指定校(小学校2校、中学校1校)					○				○	○			
教科リーダー(10名)													
エリアリーダー(10名)													
スーパーティーチャー(7名)													

## (3) 令和4年度の取組



# ・年間スケジュールについて(令和4年度)

 オンデマンド研修  
 期間内で実施

○各種研修会について		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①県立教科リーダー、市町エリアリーダー研修				○ 合同							○ 合同		
②教育情報化推進リーダー研修(オンライン研修)	県立			○			○						
	市町			○									
③職員の経験年数別研修	初任者		オンデマンド研修			○ 半日							
	3年経験者		○										
④1人1台端末の活用力向上研修									○ 2回	○ 2回			
⑤校内研修に係る支援													
⑥管理職研修会			○										

○公開授業及び授業研究会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究指定校(小学校2校、中学校1校)													
教科リーダー(10名)													
エリアリーダー(10名)													
スーパーティーチャー(7名)													

## ○公開授業について

### ○教科リーダー、エリアリーダー

#### ○研修内容

##### (1) 公開授業

～1人1台端末を活用した授業～

##### (2) 授業研究会

ア 授業について

イ グループ協議

・指導事例の共有

・校内研修の実施状況及び進め方

ウ 協議した内容の報告

エ エリアリーダーによる助言

### ○スーパーティーチャー

#### ○研修内容

##### (1) 公開授業

～1人1台端末を活用した授業～

##### (2) 授業研究会

ア 授業について

イ 実践事例の紹介

ウ グループ協議

・指導事例、授業づくりの共有

エ 協議した内容の報告

- 1人1台端末の活用に係る校内研修について  
○ 支援予定件数【1月21日現在】

合計	64件
① 小学校	43件
② 中学校	18件
③ 事務担当者	2町
④ 市町教育委員会	1市

※オンラインでの研修 8件(9月~10月)

# 1人1台端末の活用に係る校内研修の内容について

## 【研修A】(演習を中心にした研修)

### 研修内容(例)

- (1) 1人1台端末を活用した授業づくり
  - ・**端末活用ステップアップ**
  - ・活用事例等の情報提供
  - 明日から使える活用事例**体験**
- (2) 演習・協議
  - ア 授業での活用方法の検討(個人)
  - イ グループ協議(グループ)
  - ウ 協議内容の発表(全体)
  - エ 個人の具体的な取組の決定(個人)
- (3) 今後の活用に向けて
  - ・計画と実行、評価改善、情報の共有

## 【研修B】(授業づくりの協議を中心にした研修)

### 研修内容(例)

- (1) 1人1台端末を活用した授業づくり
  - ・**端末活用ステップアップ**
  - ・活用事例等の情報提供
  - 明日から使える活用事例
- (2) 演習・協議
  - ア **具体的な授業場面での活用方法の検討(個人)**
  - イ グループ協議(グループ)
  - ウ 協議内容の発表(全体)
  - エ 個人の具体的な取組の決定(個人)
- (3) 今後の活用に向けて
  - ・計画と実行、評価改善、情報の共有



# 1人1台端末の活用力向上研修について

## ○実施日

- ・7月
- ・10月

## ○研修内容

### (1) 講義

- ・「学びのSAGANアップデート」
- ・**端末活用ステップアップ**
- ・活用事例の紹介

### (2) 講義

エリアリーダーによる実践発表

### (3) 演習・協議

#### ○演習

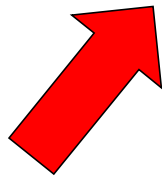
- ・カメラ機能
- ・アンケート機能
- ・音声入力機能
- ・ホワイトボード機能

#### ○協議(グループ)

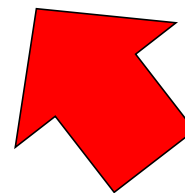
- ・**授業における活用場面の検討**
- ・今後の活用に向けて

## ・相談窓口の対応

プロジェクトEサポートステーション



市町教育委員会



市町立学校

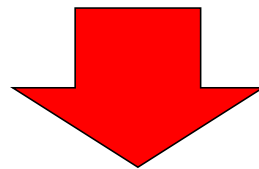
気軽に相談

### 【相談内容】

- ・1人1台端末を活用した授業づくり
- ・実践事例等の情報提供
- ・校内研修等への支援
- ・通信環境整備・運用ルール作成等への支援 など

## ○今後について

- ・端末活用のステップアップ
- ・研修及びHP等による活用事例の提供及び  
1人1台端末を活用した授業づくりの共有
- ・早い段階からの公開授業、モデル授業の実施



**全県的な1人1台端末の活用推進**

# 令和3年度 小・中・高等学校を通じた 英語教育強化事業



# 小・中・高を通じた英語教育強化事業費 教育的効果

## 目標を「見える化」する

児童生徒につけさせたい  
**英語力を「見える化」する**

- ・小・中・高での各段階における  
**目標・到達度の明確化・共有**
- ・「CAN-DOリスト」の作成
- ・リストに基づいた指導計画の策定

文部科学省：

「英語」は国際競争力を高める重要な要素

↓  
生徒に求められる英語力を達成するための  
目標を「CAN-DOリスト」で具体的に設  
定するよう提言(文科省検討会)

## ICTの強みを生かして学ぶ

ICT(1人1台端末)の強みを生かし…

英語デジタル教材で

英語力向上に不可欠

### 個別最適化された反復学習

- ・何時でもどこでも繰り返し学習する
- ・児童生徒の弱点を明確にとらえる
- ・学力の分析を基に授業改善できる
- ・小・中・高での到達度を客観的に測定・蓄積・共有

目標との  
距離を測る

## 授業を変える

佐賀県の英語の授業を変える

- ・小・中・高の枠を超えた研究
- ・CAN-DOリストの利用
- ・客観的データ(エビデンス)に基づく  
評価の確立と授業改善

目標に沿った  
授業改善

授業改善を学びに反映

学びの測定結果を授業に反映

学校での活用

既習事項の反復練習

家庭学習での活用

自己調整力、主体的な学び

Q1: Choose the best reply to the conversation

A: Hi. How are you today?

B: Fine thank you. How about you?

A: ( ).

① No, I don't      ② I'm fine thank you

③ Where are you?      ④ You are a good player

問題	正解	OK/NG
問題一問	perfect	OK
完了時間	perfect	OK
正解率	perfect	OK
正解率	perfect	OK
正解率	perfect	OK
正解率	perfect	OK

※測定結果は高校3年まで引継

佐賀県の児童生徒の英語力が小・中・高を通じて継続して高まっていく

## 佐賀県英語学習デジタル教材の具体的な機能

対応するシステム	全システム (Windows, Chrome, iOS, Android)
ユーザー数	児童生徒 約8万人      教職員 約8千人      (最大)
求める機能	「読む」「書く」「聞く」「話す」に対応 CSV形式でのデータ入力・出力 英語レベルを判定 (20問・自動採点・即時判定) 個別最適化の学びに対応
家庭学習に活用	長期休暇中はゲーム的な機能を限定公開
分析に活用	よく使うリンク集などの分析

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## 生徒ログイン画面

CBT プラットホームへ接続

ログイン

パスワード

[ゲストアクセス](#)

<http://54.95.6.122/tao/>

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## テスト選択画面

テスト一覧

実施中: 6

英検5級1回目ルビなし\_20220114

19/01/2022 16:39:32 開始

▶ 再開

英検3級1回目\_20220112

19/01/2022 16:53:54 開始

▶ 再開

実施対象テスト: 4

英検3級1回目\_20220112

▶ 開始

英検4級1回目\_20220112

▶ 開始

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## リスニング問題画面

英検5級1回目ルビなし - Listening

音声を聞き、絵の内容を表しているものをひとつ選びましょう。



00:00 / 00:12

1

2

3

▶▶ 次へ    🗑️ スキップ

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## ライティング問題画面

英検5級1回目ルビなし - Writing

76%



日本文の意味に合う文を完成させましょう。

私の祖母はカナダに住んでいます。


My     .

▶ 次へ [スキップ](#)



# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## リーディング問題画面

英検3級1回目 - Reading 1 0% 

( ) の中 (なか) に入 (はい) る語 (ご) を選 (えら) びましょう。

A: How was the party on Saturday?  
B: It was great. Many friends from school  .

▶▶ 次へ  スキップ

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## 長文問題画面

英検3級1回目 - Reading 3

62%



次（つぎ）の掲示（けいじ）の内容（ないよう）について、質問（しつもん）の答（こた）えを選（えら）びましょう。

### Earthquake Drill\* Notice

We will have an earthquake drill this week.

Date & Time: Friday, October 22, 12:10pm – 12:40pm

1. After the alarm rings, listen carefully for information.
2. Keep sitting on the floor, away from doors and windows. Use desks or tables as a cover.
3. Follow your teacher, walk down the emergency stairs and go out to the schoolyard without talking. Do not run or hurry.
4. In the yard, your teacher will call your name. Please listen.
5. The drill will end after all teachers and students arrive in the yard.

Please take part in the drill. If it rains, the disaster drill may be canceled.

\* drill: 演習（えんしゅう）

Q. What happens on a rainy day?

- Take a test.
- There is no drill.
- Teachers call your name.
- Listen carefully for information.

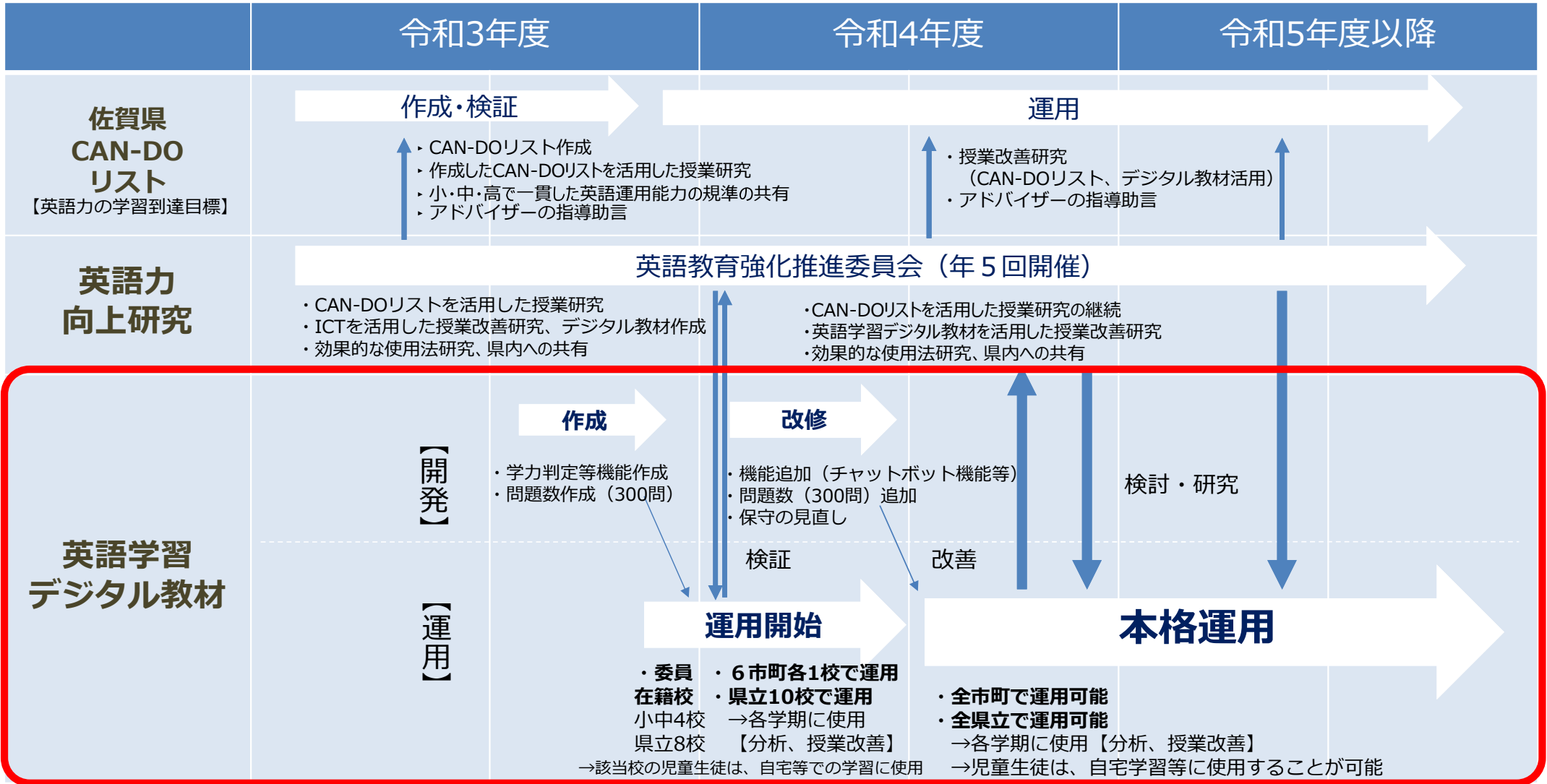
▶▶ 次へ    🗑️ スキップ

# 佐賀県英語学習デジタル教材（イメージ図）

## 生徒の結果確認画面【教員用】

結果	テーブルをエクスポート	Resultを検索
Delivery of Test 1		
Test Taker ID	受験者	開始時間
http://localhost/tao.rdf#i61b2f286d4f8d947440b827272c039	受験者名前 受験者苗字	10/12/2021 06:27:22
		<a href="#">View</a> <a href="#">削除</a> <a href="#">ダウンロード</a>
ページ番号 1 の 1		<a href="#">前へ</a> <a href="#">次へ</a>

# 今後のスケジュール



大学 1 年生を対象とした情報活用に関する意識調査 【令和 3 年度（左）、令和 2 年度（右） 比較】

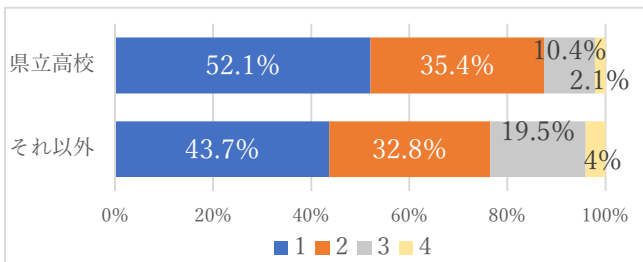
できる…1、ややできる…2、あまりできない…3、できない…4

調査時期：令和 4 年 1 月  
 対象：県内の 4 年制大学に在籍する 1 年生  
 県内公立高校 n=144 それ以外 n=323

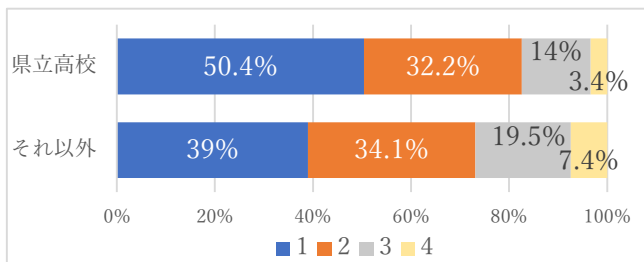
調査時期：令和 2 年 1 1 月  
 対象：県内の 4 年制大学に在籍する 1 年生  
 県内公立高校 n=121 それ以外 n=369

①1 分間で 40 文字程度の速さでタイピングすること。

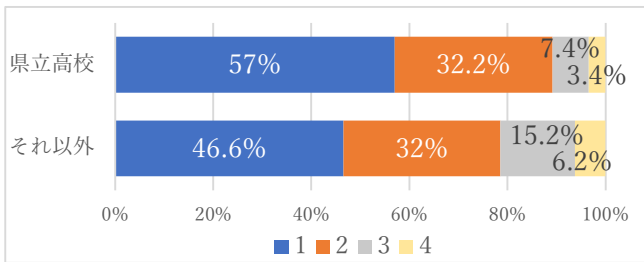
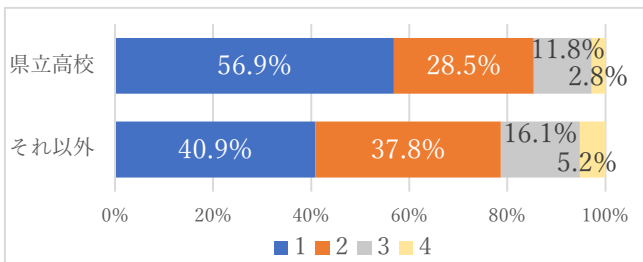
<令和 3 年度>



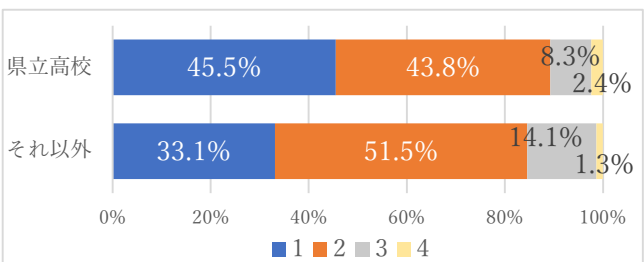
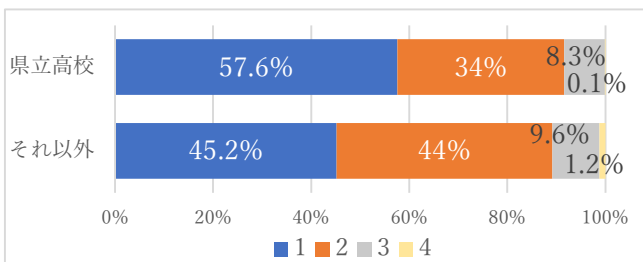
<令和 2 年度>



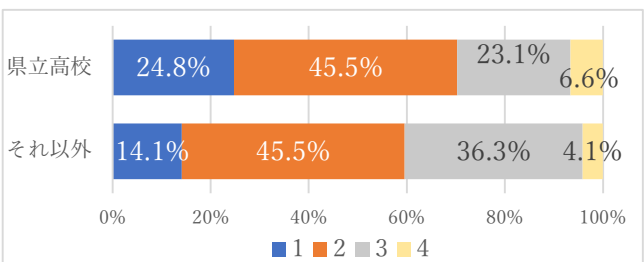
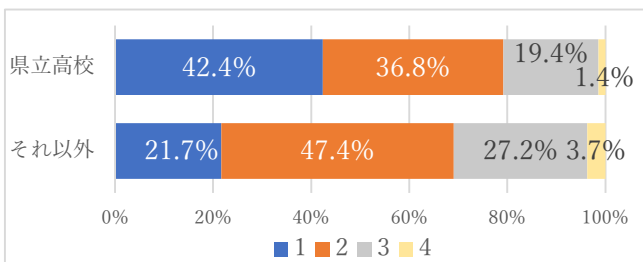
②関連するファイルを一つのフォルダにまとめたり、フォルダの階層化を行うなどファイルを整理したりすること。



③主に文章ソフトを使用してレポート等の課題を作成する際、フォントや段落などを工夫し見やすい文章として作成すること。



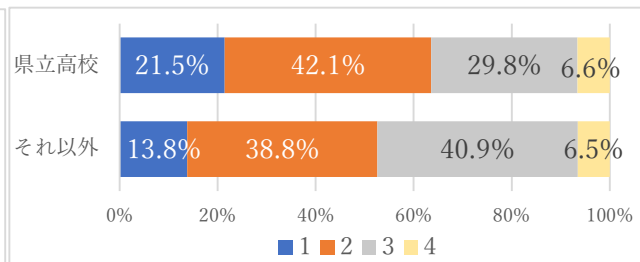
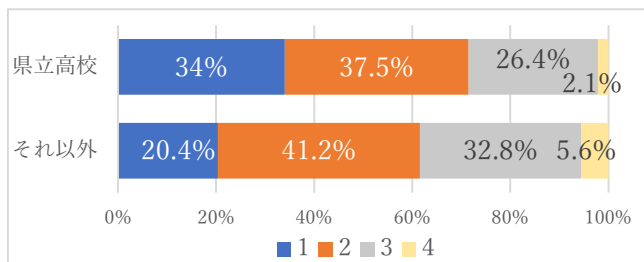
④主に文章ソフトを使用してレポート等の課題を作成する際、図や表などを使い、説得力のある文章として作成すること。



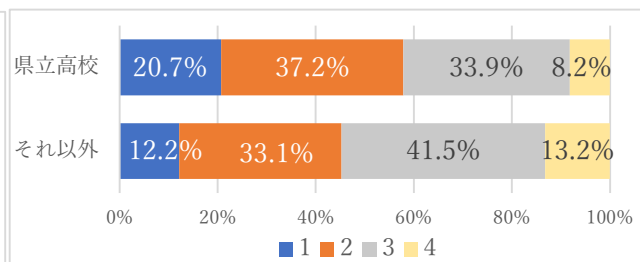
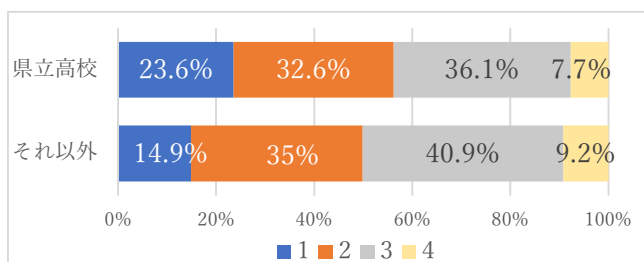
⑤主に表計算ソフトを使用してレポート等の課題を作成する際、グラフや表を用いて、比較ができるように作成すること。

<令和3年度>

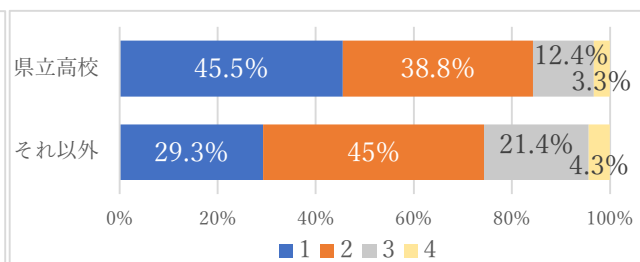
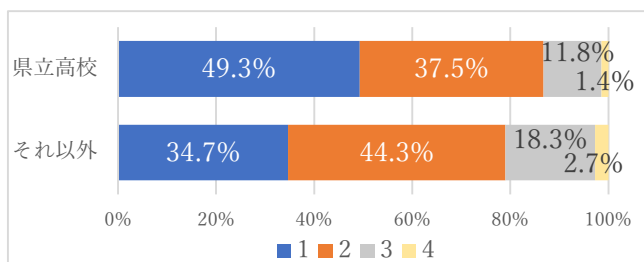
<令和2年度>



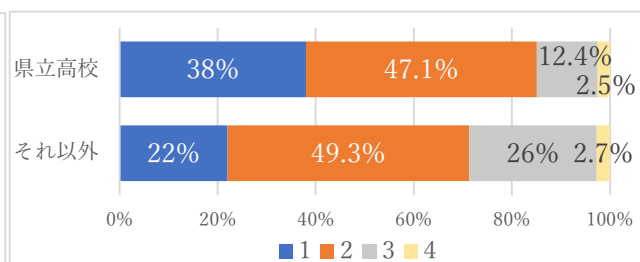
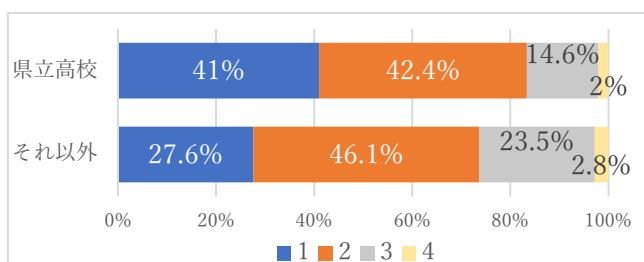
⑥主に表計算ソフトを使用してレポート等の課題を作成する際、集めたデータを簡単な関数や数式を用いて分析すること。



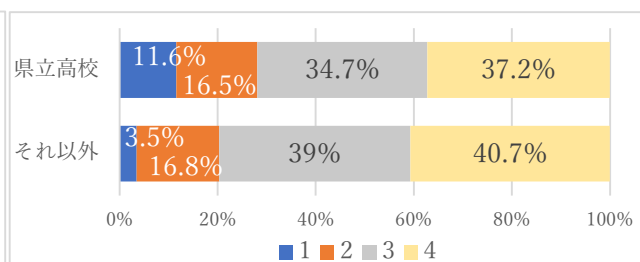
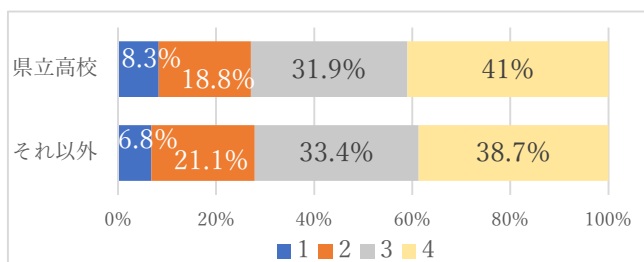
⑦主にプレゼンテーションソフトを使用して発表する際、図やグラフなどをスライドに挿入して分かりやすくすること。



⑧主にプレゼンテーションソフトを使用して発表する際、スライドの順序や論理性に注意し、自分の考えを伝えるようにすること。



⑨簡単なプログラミングをすること。

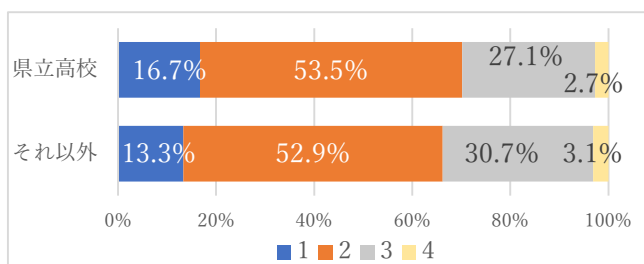




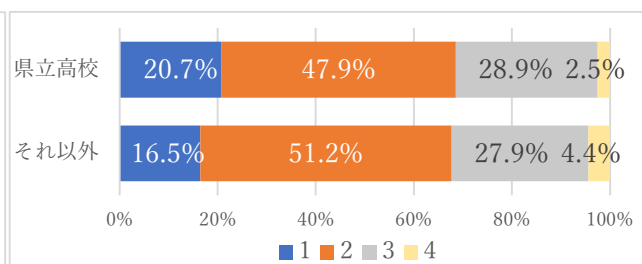
よくする・・・1、時々する・・・2、あまりしない・・・3、全くしない・・・4

1. 発表の際、自分とは異なる視点での質問があることを想定すること。

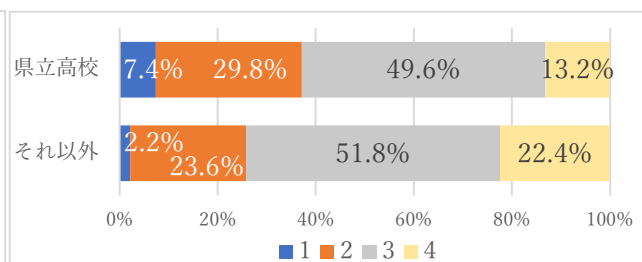
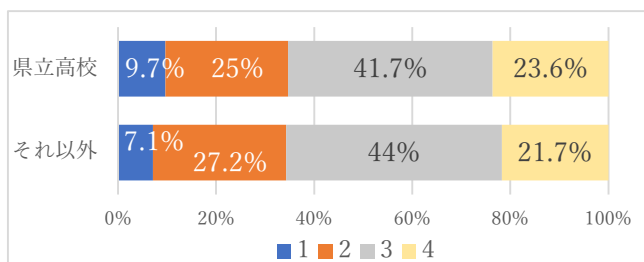
<令和3年度>



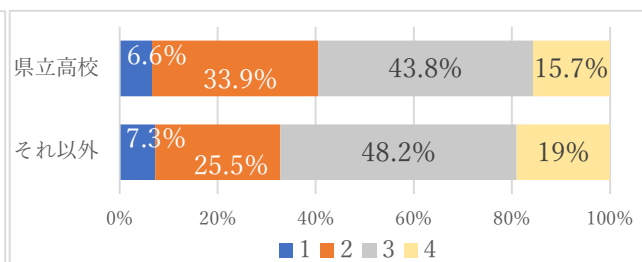
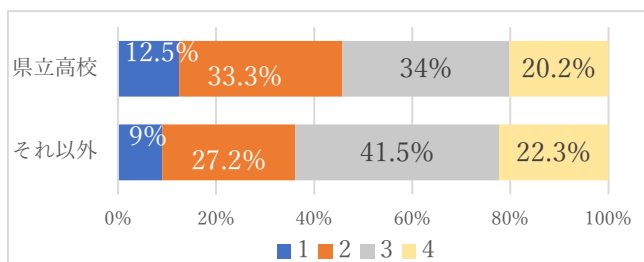
<令和2年度>



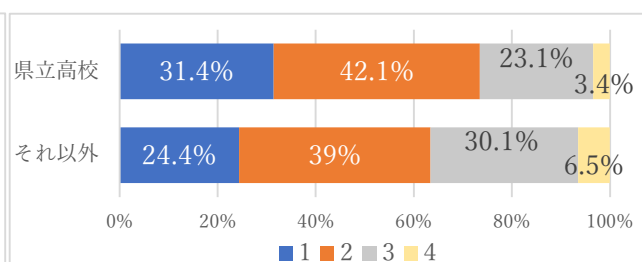
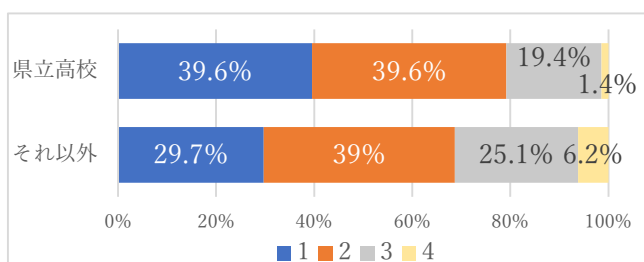
2. 簡単なフローチャートなどの手順図を描いて作業を進めること。



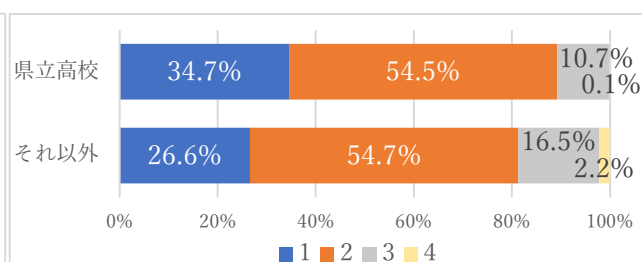
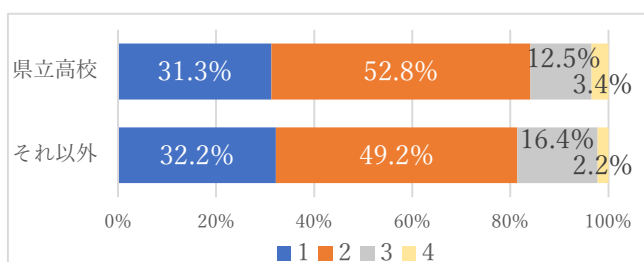
3. ソフトやアプリを活用して、互いの考えを交換し共有すること。



4. 必要な情報を得る際、インターネット（検索）や図書、新聞など調べる手段を使い分けること。

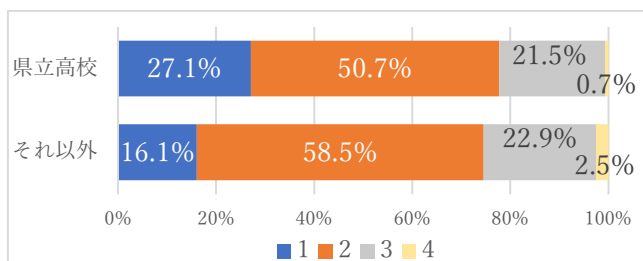


5. 得られた情報が正しいものかどうかを根拠をもとに判断すること。

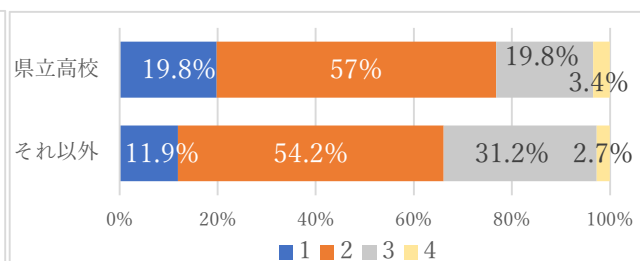


6. 表やグラフなどの複数の資料から必要なものを選び、変化や傾向を読み取ること。

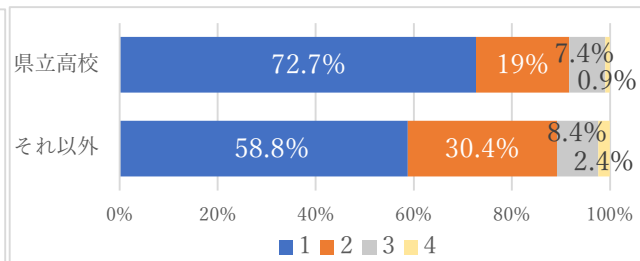
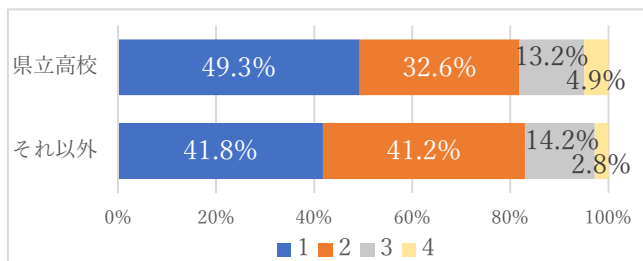
<令和3年度>



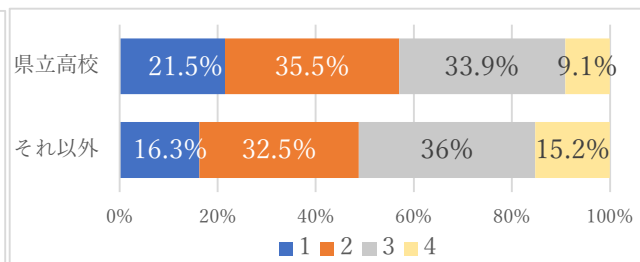
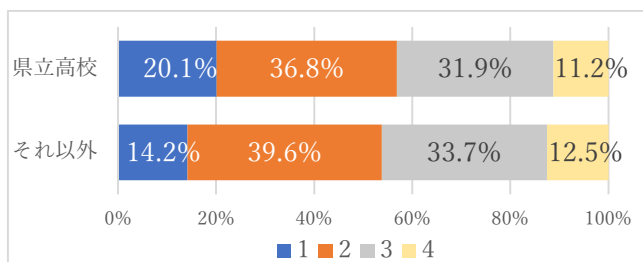
<令和2年度>



7. 動画サイトなどで講義や授業の動画をみること。



8. インターネット上にある練習問題や試験対策問題を解くこと。



9. 学習ソフトやアプリを使って勉強すること。

